

水道情報活用システム標準仕様研究会 の活動紹介

2023年10月

水道情報活用システム標準仕様研究会 事務局

水道情報活用システム標準仕様研究会のご紹介

- ✓ 「水道情報活用システム」は、5年間の調査・実証事業で作成された「標準仕様書」に基づくもので、これを維持・管理する団体として「水道情報活用システム標準仕様研究会」が設立されました。

経済産業省

DX政策の動向と水道分野の取組み

令和3年7月
経済産業省 商務情報政策局
情報産業課

水道分野での取組の経緯						標準仕様書作成	標準PF実装
年度	2014	2015	2016	2017	2018	2019	
活動	調査事業	調査事業	調査事業	調査事業、実証事業		事業開始に向けた準備	
実施内容	FS(フィジビリティの報告書)	FS(コンソーシアム形式のフィジビリティ)	実証事業に向け実施サイトの調査	*標準仕様作成 *水道プラットフォーム及び実証APの試行開発	*実証APの評価 *標準仕様書改定 *導入マニュアル *PF部分の一部開発 *リファレンスアーキ *調達仕様書案 *システム領域の拡大 *標準仕様の管理先 *WGの開催(普及拡大) *アンケート(厚労省経由)	水道標準プラットフォームの構築	
所管	経済産業省 情報経済課	経済産業省 情報通信機器課	経済産業省 情報通信機器課	経済産業省 情報産業課 NEDO(実証事業実施先)	経済産業省 情報産業課	経済産業省 情報産業課	
委託先	委託先 日立製作所	委託先 JWRC(調査事業事務局)	委託先 三菱総研、日立製作所、NTTデータ	調査委託先 三菱総研 実証委託先 日立製作所 実証委託先 NTTデータ	補助先 JECC		
参加者		委員会参加者 厚生労働省水道課事務局 日立製作所、東芝 事業者 10事業者 ベンダー 10社、NTTデータ、メタウォーター、水ingなど	委員会参加者 事業者 岩手中部、香川県、大阪広域、八戸圏域	実証関係事業者 岩手中部、香川県、大阪広域、八戸 事業者WG 大阪市など14事業者からベンダーWG 10社			

本格的な普及へ

IPA 資料より 7

出所：2021.7.1 水道事業者WG 経済産業省様説明資料より

- ✓ 当研究会は、水道標準プラットフォームが社会実装された2019年度経済産業省補助事業において、「標準仕様書」の維持・管理団体の必要性が提言され、設置されました。
- ✓ 現在の運用体制は、厚生労働省様、経済産業省様からのご推薦により、決定され、今日にいたっております。

資料3

水道情報活用システム 標準仕様等管理団体の 選定について

令和元年9月

経済産業省商務情報政策局情報産業課
厚生労働省医薬・生活衛生局水道課

標準仕様の管理

標準仕様等の管理者の条件

1. 関係者が安心して標準仕様等の管理を任せられる
2. 関係者からの要望・提案を受けて改定等の検討を行う委員会等を主催できる
3. 一部のステークホルダーの技術等に偏ることなく、透明性の高い管理ができる
4. 標準仕様の原本を管理し、広く一般に公表できる
5. 標準仕様等の管理を継続して行える
6. 水道事業について深い知識を有している

標準仕様等の管理者の選定手法（案）

経済産業省補助事業において設置する委員会で、標準仕様等の管理候補者の適性、管理計画の妥当性等について協議し、管理者を決定することで、透明性を確保

1. 上記条件を満たす団体等に対して、経済産業省及び厚生労働省より推薦
2. 管理候補者において、管理手法等に関する管理計画を策定
3. 管理候補者から提出された管理計画を審議し、管理者を決定

第1回委員会（9月17日開催）

1. 上記1～3に示す標準仕様等管理者の決定プロセスを審議
2. プロセス承認後、経産省・厚労省より管理候補者を推薦

以降、管理候補者において、管理計画書を作成

第2回委員会（2月開催予定）

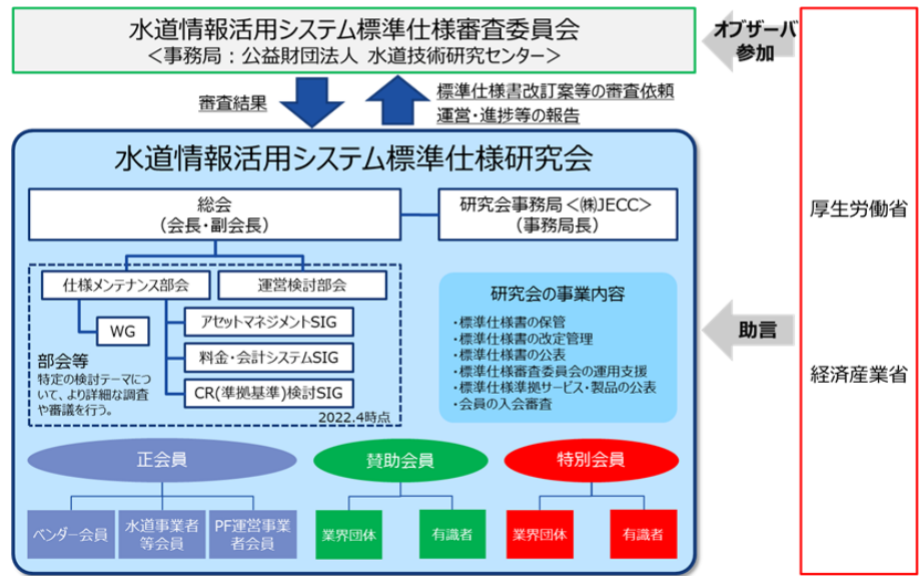
1. 管理候補者より、管理計画書を提出
2. 提出された管理計画書を審議
3. 管理計画承認後、管理者が決定

出所：第一回 水道施設情報整備促進事業委員会 資料（令和元年9月17日開催）

- ✓ 研究会は、水道事業者様、ベンダー様、PF運営事業者様による正会員と、業界団体、有識者による特別会員、賛助会員で構成されております。
- ✓ 研究会の活動を大別しますと、「標準仕様書の管理・改訂業務」と「水道情報活用システムの普及促進活動」となり、本日開催させて頂いているウェビナーも、普及促進活動の一つとして行わせて頂いているものです。

2. 水道情報活用システムの管理・改定

水道情報活用システムの標準仕様は、情報利活用の高度化、日々進化する技術等への対応、セキュリティ対策のためにも、水道情報活用システムを利用する関係者からの要望・提案を受け、改定等を継続的に行っていく必要があります。個々の関係者が独自に改定等を行うと、情報流通性の担保が保てなくなるだけではなく、一部のベンダの技術等に偏るなど公平性が保てず、水道情報活用システム利用者にとっては不利益となるおそれがあります。そのため、独立した第三者機関が標準仕様等を管理し、改定等を行うことが望ましいことから、(公財)水道技術研究センターが事務局となって標準仕様の改定等の審査を行う管理・改定の体制が構築されています。

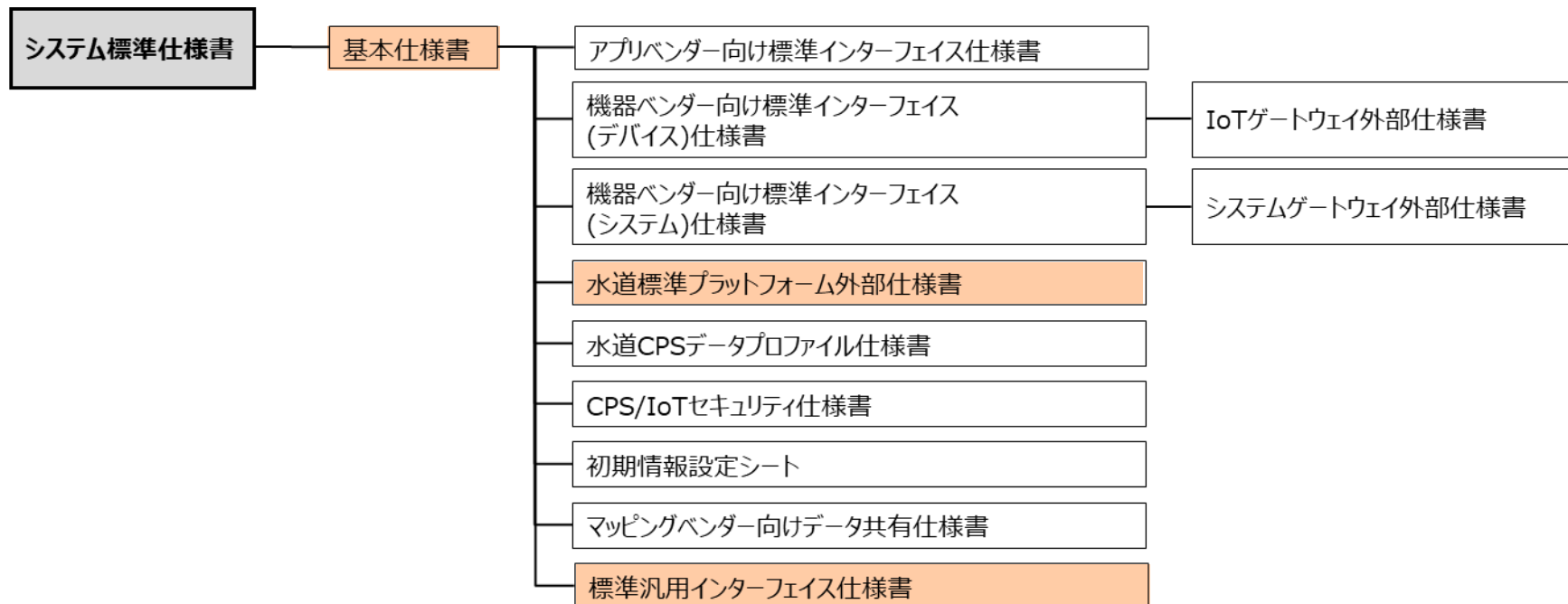


- <役員>**
 ~会長~
 新 誠一 (電気通信大学 名誉教授)
 ~副会長~
 石井 晴夫 (東洋大学大学院 経営学研究科 客員教授、東洋大学 名誉教授)
 菊池 明敏 (総務省 経営・財務マネジメント強化 事業アドバイザー、関西学院大専門職 兼任講師、(岩手中部水道企業団元 局長))
 菅又 久直 (一般社団法人サプライチェーン情報基 盤研究会 業務執行理事)
- <関連団体 (特別会員) >**
 公益財団法人水道技術研究センター (JWRC)
 公益社団法人日本水道協会 (JWWA)
 全国簡易水道協議会
 一般社団法人日本工業用水協会 (JIWA)

出所：厚生労働省HP CPS/IoTの活用 図-標準仕様書管理・改定の体制

標準仕様書の管理・改訂業務

- ✓ 「標準仕様書」は12分冊で構成されており、日々進化する技術や情報利活用の高度化への対応、利便性の向上などを目的に、適宜、改正を行います。



※ は、改訂が行われた仕様書です。

改訂履歴

ドキュメント名	改訂日	改訂概要
水道情報活用システム 基本仕様書	2023年3月	料金・会計システムを対象とする「業務区分コード」・「データ項目区分コード」の再整備
水道標準プラットフォーム外部仕様書	2021年10月 2022年10月	独自インターフェイスの暫定接続可能期間の延長
標準汎用インターフェイス仕様書	2021年2月	小規模施設の監視を実現するため軽量なプロトコルとして Modbus/TCPについて整備

- ✓ 標準仕様書の改定等について議論する場として、ワーキンググループとSIG (Special Interest Group) を設置し、活動をおこなっております。
- ✓ 研究会で取りまとめた標準仕様書改定案は、水道技術研究センター様が事務局を務める「水道情報活用システム標準仕様審査委員会」にてご審議頂き・ご承認頂けると、標準仕様書が改定されるフローとなっております。

標準仕様書 改定案

- ・SIGで作成された改定案を研究会の案として承認
- ・審査委員会へCRの提出

SIG

(スペシャルインタレストグループ)

- ・会員から提出されたCRを検討
- ・標準仕様書の改訂案を議論し作成

↑
集中的に議論すべきテーマがあれば
必要に応じてSIGを設置

WG

(ワーキンググループ)

- ・水道事業者様・ベンダー様より広くご意見等を頂く
- ・研究会より水道情報活用システムに関する情報提供

水道情報活用システムの普及促進活動

- ✓ 水道情報活用システムの検討や情報利活用に役立てて頂けるよう、様々な情報提供を行っております。
- ✓ **今月開催した全国説明会では、導入事業者である大津市様、奈良市様にご登壇頂き、事例紹介をして頂きました。参加事業者様と直接お話頂く場もご用意させて頂きました。**
- ✓ **事業者様間で情報交換できることは大変有意義**とご好評頂いており、今後もこうした機会を提供できるよう活動してまいりますので、その際は、是非皆様、ご参加ください。

ウェビナー

水道事業関係者の皆様に水道情報活用システムの認知を図る
 プログラム例：厚生労働省、経産省からの政策説明、先行
 導入事業者様の事例発表

画像は投影のみと
 させていただきます。

全国説明会・個別相談会

水道事業者の皆様への情報提供と水道情報活用システムの導入
 促進に向けた相談会
 開催地：札幌、仙台、東京、名古屋、大阪、広島、福岡他

画像は投影のみと
 させていただきます。

- ✓ 水道事業者様から、施設台帳の整備にあたり、どのような管理が望ましいか知りたいとのご要望を受け、**複数の会員事業者様から実際に使用されている管理項目をご提供頂き整理した、水道施設台帳の整備項目を公開しました。**

水道施設台帳のデータ項目を整理し公表しました。

水道施設台帳の整備項目案を公開しました

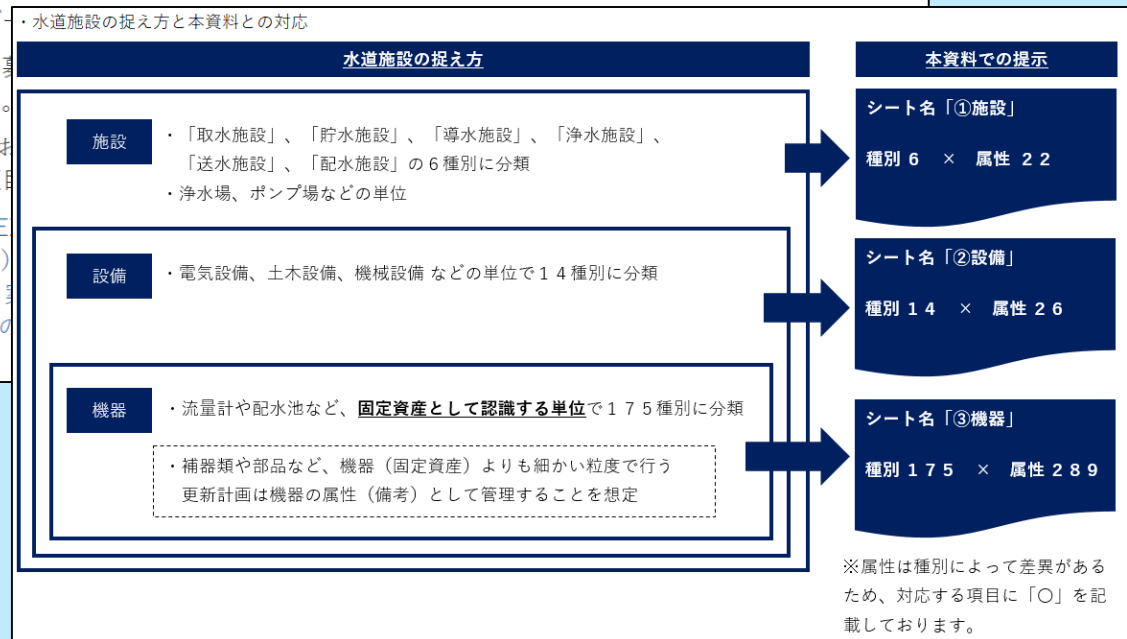
水道情報活用システム標準仕様研究会（会長：新 誠一、以下「研究会」といいます。）は、水道事業者様とベンダ様の知見を集約し、アセットマネジメントの高度な実践を図ることを目的にアセットマネジメントSIG※を開催しております。

この度、アセットマネジメントSIGでは、各水道事業者様から保有する台帳項目を提供いただき、ご協力いただいた水道事業者様が現在管理している項目ならびに水道情報活用システムの基礎データと水道施設の捉え方と本資料との対応

研究会会員以外の水道事業者様等からもご意見を広く募り、一般公開させていただく運びとなりました。

ご意見は事務局宛（wssp-sc@jecc.com）にご連絡をお願いいたします。ご意見は、研究会内で検討し、施設台帳項目

公開資料：資料①施設台帳整備項目案（Ed.1.2）（Ed.1.1）
資料②機器種別 法定耐用年数案（Ed.1.1）
資料③給水人口別 属性項目テンプレート案（Ed.1.1）
資料④階層・種別・属性（項目）整備案の検討結果（Ed.1.1）
2021年8月18日付修正点一覧（PDF：264KB）



- ✓ 整備した水道施設台帳をベースにした業務オペレーション案を、**実際の水道事業者様へオペレーションを確認させていただき整理、公開しました。**これにより**アセットマネジメントの高度な実践**にお役立て頂ければと考えております。

水道施設台帳と固定資産台帳を紐づけ、整備された水道施設台帳を最新の状態に保つとともに、日常点検や定期点検をデータ化する業務オペレーション案を整理しました。

2023.03.01

水道施設台帳整備における業務オペレーション案を公開しました

水道情報活用システム標準仕様研究会（会長：新 誠一、以下「研究会」といいます。）は、水道事業者様とベンダ様の知見を集約し、アセットマネジメントの高度な実践を図ることを目的にアセットマネジメントSIG※を開催しております。

本SIGにて整理された水道施設台帳の整備項目案については、研究会会員以外の水道事業者様等からもご意見を広く募ることで、より良い内容へ改訂をしていって欲しいとの協力水道事業者様からのご意向もあり、2021年8月に一般公開させていただきました。

この度、本SIGにおいて、水道施設台帳整備における業務オペレーション案が整理されました。本業務オペレーションについても研究会会員以外の水道事業者様等からもご意見を広く募ることでより良い内容へと改訂いたしたく、同様に一般公開させていただきます。詳細は公開資料「業務オペレーションの整理」をご確認ください。

ご意見は事務局宛（wssp-sc@jecc.com）にご連絡をお願いいたします。
いただいたご意見は、研究会内で検討し、アセットマネジメントSIGにて議論いたし

公開資料：業務オペレーションの整理（PDF：376KB）

水道情報活用システム
標準仕様研究会 アセットマネジメントSIG

マイクロマネジメント分科会
業務オペレーションの整理

EDITION 1.0
2023年1月

- ✓ **水道事業者様が水道情報活用システムで利用できるアプリケーション・製品を参照頂けるよう、会員ベンダー様ご協力のもと、研究会ホームページ内に「水道情報活用システムで利用できるアプリケーションサービス・製品」を作成・掲載しております。**

水道情報活用システムでご利用可能予定のアプリケーション・製品一覧を研究会ホームページに公開しています。

水道事業者様がシステム更新に際し水道標準プラットフォームを検討する際のご参考としてご利用ください。

水道情報活用システムで利用できるアプリケーションサービス・製品

1. アプリケーションサービス

企業名	商品名	施 台 帳	マ ッ ピ ン グ	ア セ マ	料 金	会 計	需 要 予	管 解 析	運 監 視	水 監 視	そ の 他	備考	お問い合わせ先
〇〇株式会社	料金システム				●								△△事業部 TEL : 03-9999-9999 MAIL : mail@mail.jp
	会計システム					●							
	マッピングシステム		●					●					
	監視制御システム								●	●			

※上記はイメージとなります

- ✓ 今年度6月から、アプリケーションサービスについての、**標準仕様準拠サービス・製品の公表手続き**を策定いたしました。**会員ベンダー様からの申請受付を開始しておりますので、水道事業者様向け情報発信制度として、是非ご活用ください！**

アプリケーションサービスについて、水道標準プラットフォームとの接続に関する自己確認の方法と申請手続きを定め、受付を開始いたしました。会員ベンダー様からのご申請に基づき、**水道標準プラットフォームとの接続確認済アプリケーションサービスの公開を行って参ります**。これにより、**水道事業者様は、水道情報活用システムの導入を検討される際の、アプリケーションサービス確認にご活用いただけるとともに、会員ベンダー様にも水道事業者様向け情報発信としてご活用頂ければと考えます**。

2023.06.29

標準仕様準拠サービス・製品の公表手続きについて（アプリケーションサービス）

水道情報活用システム標準仕様研究会（会長：新 誠一、以下「研究会」といいます。）は、管理業務運用規程6.4.1(5)「標準仕様準拠サービス・製品の公表」で定めた業務のうち、データ流通・利活用を目的とする水道情報活用システム標準仕様に準拠するアプリケーションサービスとしての自己確認の方法および申請手続きを定めましたので公開します。

本手続きは、CR検討SIGメンバーの検討の結果、ベンダ様が水道標準プラットフォームと接続できていることを自己確認し、研究会に公表の申請を行う手順と、申請を受けた研究会の公表手順を作成することとし取り纏めたものとなっており、部会の承認を経て公開に至っております。

水道事業者様におかれましては、今後研究会ホームページに公表される標準仕様準拠サービス・製品一覧をご確認いただくことで、水道情報活用システムの導入検討にお役立ていただけることを期待しております。一方、ベンダ様におかれましては、本手続きをとることにより水道情報活用システムを採用していることを水道事業者様に広く訴求いただけるものと考えますので、是非ご活用ください。

研究会は、今後も水道事業者様の導入支援の一助となる情報提供を行って参ります。

- ✓ 水道情報活用システムの調達を検討される水道事業者様向けの支援活動も行っておりますので、**調達準備の進め方や標準仕様準拠の確認など、お気軽にご相談ください。**
- ✓ 昨年度末に公開された「**広域化推進プラン**」で「**水道情報活用システム**」の検討を考えられている府県様を多く確認しております。今年度、**広域化検討会議での勉強会参加のご依頼を頂くケースも複数あり、そうしたご協力も喜んでさせていただきます**ので、お声がけください。

例えば・・・

<調達・導入等の支援>

- 水道情報活用システムの先行導入事例を聞きたい
- 水道情報活用システムの採用を前提とした仕様書を作成したい
- 検討している内容が標準仕様に準拠しているか確認をしたい

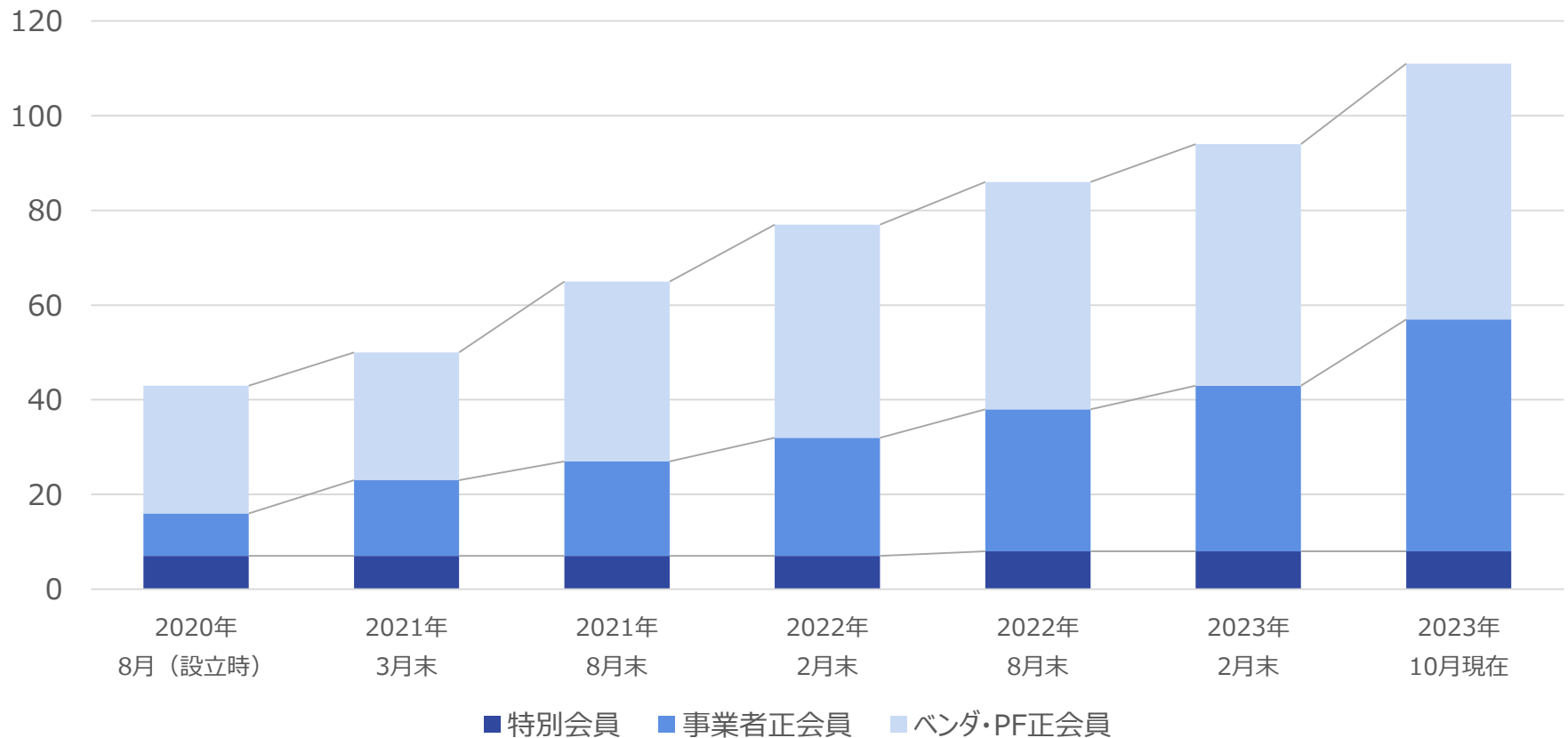
<勉強会等での講演>

- 水道情報活用システムの説明を聞きたい
- 広域化会議などの場で水道情報活用システムの説明をしてもらいたい

……などなど、どの様な内容でもご相談ください！

- ✓ 研究会会員は、2023年10月時点で111者となりました。今後も会員の皆様のお役に立てるような活動を行ってまいりますので、未入会の水道事業者様、ベンダー様は是非入会をご検討いただけますようお願い致します。

研究会の会員数推移



ご清聴、ありがとうございました。

ご質問等は、研究会事務局までご連絡ください。

TEL : 03-3216-3605

メールアドレス : wssp-sc@jecc.com

<https://www.j-wpf.jp/>